



## 令和3年度 全国学力学習状況調査の結果から

8月31日 文部科学省は今年の全国学力学習状況調査の結果を公表しました。

今後、本校での詳しい分析は研究推進委員会の先生方から示されるかと思いますが、下の表のように、国語、算数ともに、平均正当数、平均正答率とも全国平均を超えていることが分かりました。（※具体的な数値は校内資料で確かめてください）

### 【国語】

	平均正当数	平均正答率
大和町立小野小学校	全国平均数を超えています。	全国平均を超えています。
宮城県	8.9 / 14	63%
全国	9.1 / 14	64.7%

### 【算数】

	平均正当数	平均正答率
大和町立小野小学校	全国平均数を超えています。	全国平均を超えています。
宮城県	10.9 / 16	68%
全国	11.2 / 16	70.2%

一方、河北新報の解説にあるように、一斉休校と学力の相関関係は見られない（文科省）と結論づけるのではなく、「コロナ禍による様々な活動制限は今も子供たちの心身に影響を与えており、1つのテストの結果に安心するのではなく、長期にわたり学力の状況を把握する必要がある」という論調には全く同感です。

さて、私が着目したのは、「児童質問紙 11 昨年の臨時休校の時期」に関する回答内容です。以下、割合は本校児童の割合です。

64 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか。

⇒当てはまる、どちらかと言えば当てはまるを合わせて60.6%

65 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか。

⇒当てはまる、どちらかと言えば当てはまるを合わせて68.2%

66 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか。

⇒当てはまる、どちらかと言えば当てはまるを合わせて68.1%

67 コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていましたか（複数選択）

⇒家族に聞いた72.7% 自分で調べた63.6% 友達に聞いた30.3%

この結果から、昨年度の休校期間の子供たちの様子が推察されます。概ね規則正しく、計画的に学習に取り組んでいたことがわかりました。

また、気になるスマホやPCの使い方の約束については、76.8%の児童が、家の人との約束を守っていて、こんなところにも、本校の保護者の皆様や子供たちの意識の高さを感じることができました。あくまで、1つのテストや調査の結果ですが、今回の結果を更に分析し、今後の指導の指針として全教職員で共有し、活用できればと願っています。

（文責：手代木）